

だが、委員から「町民の意見を聞く場を設けるべき」との声が上がっていた。

県と市町村の庁舎の共同整備は、県と米子市の建設関連の部署などが入居する県西部総合事務所3号館・米子市役所統轄庁舎の先例がある。(本高屋修)

基本設計着手 住民賛同せず

倉吉の保育所統合問題 関係者が初の意見交換

倉吉市が同市横田で進めている既存保育所の統合計画に対し地域住民が見直しを求めていることを受け、市は11日、全対象地区の関係者との意見交換会を初めて開いた。市が提案した基本設計の着手に地域の賛同は得られず、改めて各地区で協議することとなった。



保護者や地域住民に候補地変更の経緯を説明する
広田市長(11日、倉吉市役所第2庁舎)

会合には、統合対象の北谷、社、高城と、当初統合予定だった灘手を加えた4保育所の保護者や地域住民計25人と、広田一恭市長らが出席。地域住民は「横田が選ばれた経緯が不透明」と市の計画に難色を示した一方、保護者は「新たな施設を早く作ってほしい」と早期開園を求めるなど意見が割れた。

広田市長が「横田で基本設計を行った上で協議を継続したい」との考えを示したが、地域住民は「意見交換会として参加している。ゴーサインは出せない」と態度を保留。各地区や保護者会に持ち帰り、改めて意見集約することとした。会合後、広田市長は「基本設計の中に地域や保護者の要望を取り入りたい」と述べ、引き続き設計着手に理解を求める姿勢を示した。

市は新施設をこども園とし、本年度から同市福光で開園予定だったが、地元農業団体の同意が得られず候補地を同市横田に変更。その過程が不透明などとし、対象地域から再考を求める陳情や要望書が提出されていた。(井田慎一)

めて同地で計画を進める考えを示した。

市が当初計画していた同市福光の農地を「優良農地」などの理由から地元土地改良区が転用を「不同意」とし、候補地が横田に移った経緯について、「一般質問で大津昌克議員(やうい)が「関係法令には『同意が必要』ではなく『意見を聞かなければならない』とあるだけだ」と、計画を変更した市の対応を追及。広田市長は「同意」の解釈について「改良区の意見を参考に手

続きを進めるといつ」とした上で、「いまは横田をベースに基本設計に入りたい」と述べ、計画の見直しはしない意向を示した。

公立保育所計画 「横田で進める」

倉吉市長改めて意向示す

倉吉市が同市横田で進める公立保育所再編に地域住民らが用地の選定過程が不透明として見直しを求めている問題で、広田一恭倉吉市長は6日の本会議で、改めて同地で計画を進める考えを示した。(井田慎一)